

事業所における自己評価結果（公表）【児童発達支援】

公表：令和 6年 3月 1日

事業所名 こども発達支援センターどーなつ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		
	②	職員の配置数は適切である	○		
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		入口に段差などがあるが、利用者の方の安全を確保しながら対応している。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	第三者評価は実施していない。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		研修には積極的に参加し、また、事業所内研修も行っている。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		保護者の方にモニタリングを行い、それを基に職員間で話し合い計画を立てている。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		個々に有効なアセスメントツールを検討し進めている。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		職員間で話し合い、立案している。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		利用者の状況に合わせて内容を工夫している。
⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		利用者の状況を常に話し合い、一人一人に合わせた計画を作成している。	

	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎朝行っている。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		毎日行っている。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		毎日記録を取り、様々な支援方法について話し合っている。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		常に連携を取っている。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○		現在、対象者なし。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○		現在、対象者なし。
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		こども総合療育センターの支援・研修を年間を通して実施し、助言や指導を受けている。
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	○		
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		積極的に参加し、連携を図っている。
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		日々の連絡帳でのやり取り、電話連絡、面談にて保護者と情報の共有に努めている。
㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○			
保護者への説明責任等	㉜	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に行っている。
	㉝	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		
	㉞	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		連絡帳、電話、送迎時等での相談や悩み事には常に対応している。

非常時等の対応	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		○	会報等は発行していない。
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	○		十分に配慮している。
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	
	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		職員には周知しているが、保護者には不十分である。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		実施している。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○	現在、対象者なし。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		作成し、共有できている。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		研修を行っている。
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している		○	現在、対象者なし。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）【児童発達支援】

公表：令和 6年 3月 1日

事業所名 こども発達支援センターどーなつ

保護者等数（児童数28） 回収数 28

割合 100%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	24	1	0	3	室内ばかりなので外に出たいと言っていた。	前向きに検討します。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	18	2	0	8		
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	21	4	0	3		
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	21	3	0	4	清潔さ、いつも気になっています。	常に清潔さを保つよう配慮しています。
適切な支援の 提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	28	0	0	0		
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	22	3	0	3	「発達支援」「家族支援」「地域支援」の内容から選択される事を知らなかった。	当事業所は、「発達支援」を一番重視しています。
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	28	0	0	0		
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	21	3	0	4		
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	20	3	2	3		
	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	26	1	1	0		
⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	24	1	1	1	解答なし・・・1 ガイドラインを見たことがない。	今後、ガイドラインを掲示する等配慮します。	

保護者への説明等	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	21	2	0	5	増やしてほしい。 講演で発達障害についてのお話があった時に参加させていただきました。次回は参加させていただきます。	次年度も、年間4回の保護者対象研修を準備しています。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	25	3	0	0	ノートにしっかりと書いてあるのですぐ分かりやすい。 連絡ノートで毎回様子や取り組みを教えて頂きありがとうございます。	今後も継続します。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	25	3	0	0		
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	11	5	2	10	コロナ禍でなかなか難しかったと思います。	次年度より強化します。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されるとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	23	2	1	1	解答なし・・・1	
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	24	4	0	0	保護者との情報伝達は連絡帳で行えるが保育園での様子を連絡帳で伝える事が難しい。 毎回連絡帳でどーなつの様子が知れて嬉しいです。	今後も継続します。
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	14	5	3	5	解答なし・・・1	
非常時等の対応	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	24	1	0	3		
	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	13	4	2	9	可能であれば、救急車や消防車を呼んで欲しい。 実施されているのか教えて欲しい。	年に一度消防署と連携し、来所して貰い、今年度は消防車に乗せて貰いました。
満足度	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	12	3	1	12		
	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	23	5	0	0	いつも「行きたい」「楽しい」と喜んでいきます。 「今日はどーなつでね・・・」と、楽しかった事などを嬉しそうに話してくれます。 気分によるみたいです。	クラスが上がるごとに訓練の内容が楽しい訓練から、難しい訓練に変わります。社会性を身につけるには必要な訓練です。時には、背中を押してやって下さい。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	24	4	0	0	数字などを覚える力が身につけて良かったと思っています。	常に支持されるよう頑張ります。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業所における自己評価結果(公表)【放課後等デイサービス】

公表：令和 6年 3月 1日

事業所名 とも発達支援センターどーなつ

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制 整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	② 職員の配置数は適切であるか	○			
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		段差などがあるので安全を確保しながら利用者に合わせて配慮している。
業務 改善	④ 業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	第三者評価は行っていない。
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			研修には積極的に参加し、事業所内研修も行っている。
適切 な支 援の 提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			保護者の方にモニタリングを行い、それを基に職員間で話し合い、計画を立てている。
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			個々に有効なアセスメントツールを検討し進めている。
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			職員間で話し合い立案している。
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			利用者の状況に合わせて内容を工夫している。
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			利用者の状況を常に話し合い、一人一人に合わせた計画を作成している。
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎朝行っている。
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			毎日行っている。
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			毎日記録を取り、様々な支援方法について話し合っている。
	⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的に話し合いながら判断している。

	⑱	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ て支援を行っているか	○		
関係機 関や保 護者との 連携 関係機 関や保 護者との 連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に その子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画し ているか	○		
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、 子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の 対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○		学校とは常に連携を取っている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、 子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	現在、対象者なし。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども 園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互 理解に努めているか	○		
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害 福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの 支援内容等の情報を提供する等しているか		○	今年度は対象者なし。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等 の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		こども総合療育センターの支援・研修を年間を通して 実施し、助言や指導を受けている。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない 子どもと活動する機会があるか		○	
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加して いるか	○		
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの 発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		日々の連絡帳でのやり取り、電話連絡、面談にて 保護者と情報の共有に努めている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に 対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○		
保護者へ の説明 責任等	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧 な説明を行っているか	○		
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に 応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		連絡帳、電話、送迎時等での相談や悩み事には常に 対応している。
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する 等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	
	㉝	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を 整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情が あった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		
	㉞	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、 連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信し ているか		○	会報等は発行していない。
	㉟	個人情報に十分注意しているか	○		
	㊱	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝 達のための配慮をしているか	○		
	㊲	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれ た事業運営を図っているか		○	
	㊳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応 マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○	職員には周知しているが、保護者には不十分である。

非常時等の対応	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			実施している。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			研修を行っている。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			○	現在、対象者なし。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	現在、対象者なし。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			作成し、共有できている。

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

【放課後等デイサービス】

公表：令和 6年 3月 1日

事業所名 こども発達支援センターどーなつ

保護者等数(児童数 26) 回収数 26 (割合 100%)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制 整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	23	3	0		
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	21	5	0		
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	14	7	5		
適切 な 支 援 の 提 供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	24	2	0		
	⑤	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	22	4	0		
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	6	15	5		
保 護 者 へ の 説 明 等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	24	2	0		
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	26	0	0		
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	26	0	0		
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	13	13	0		
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	23	3	0		
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	25	1	0		
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	9	15	2		
	⑭	個人情報に十分注意しているか	26	0	0		
非 常 時 等	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	9	17	0		

の 対 応	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、 その他必要な訓練が行われているか	11	14	0	解答なし・・・1	
満 足 度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	19	4	3	どーなつが楽しくて学校に 行きたがらない。学校に行 くと、どーなつに行けるから 仕方なく学校に行っている 様子。	今後も支持されるよう頑張 ります。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	23	3	0	親の不安を全てなくしてくれ るから助かっている。	今後も継続します。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者向け放課後等デイサービス評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業所における自己評価結果（公表）【児童発達支援】

公表：令和 6年 3月 1日

事業所名 こども発達支援センターどーなつあらお

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		
	②	職員の配置数は適切である	○		
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		段差は少ないが、利用者の状態に合わせて対応している。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○	○	第三者評価は実施していない。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		外部研修会は積極的に参加している。内部研修も随時行っている。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		保護者に家庭の様子をモニタリングし、それをもとに職員間で話し合い保護者と面談して支援計画を作成している。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		各利用者に有効なアセスメントツールを利用し進めている。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		事業所内で随時話し合い立案している。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		利用者の状況を見極めながら都度話し合い工夫している。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて児童発達支援計画を作成している	○		利用者の状況を都度話し合い、計画を作成している。
⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎朝行っている。	

	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		毎日終礼にて行っている。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		毎回記録を取り、朝礼、終礼にて話し合いを行っている。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		定期的に話し合いを行い判断している。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている			
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている			
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		必要に応じて連携している。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		必要に応じて連携している。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		有明圏域の児童発達支援センターと連携し、定期的にこども総合療育センターの支援及び研修を受けている。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		毎回の連絡帳・電話連絡・面談にて保護者と話し合いを行っている。
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言等を行っている	○		随時相談を受け付け、助言や支援を行っている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		今年度は2回行っている。

非常時等の対応	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		○	会報は発行していない。
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	○		配慮している。
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	
	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		職員には周知している。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		実施している。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		研修会を行い対応している。	
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している				身体拘束は行っていない。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

【児童発達支援】

公表：令和 6年 3月 1日

事業所名 こども発達支援センターどーなつあらお

保護者等数（児童数 2 2） 回収数 2 2

割合 100%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制 整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	20			2	・一人で集中していたと聞く事があるので確保されているのではと思います。 ・1回の見学では良く分からない。	継続します。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	16			6	・先生方の名前も分からない。	名前・資格は事業所に提示してあります。
	③	生活空間は、本人に分り易い構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	17	1		4	・バリアフリー化されていない。2階に部屋があり、階段のみしかない。 ・本人がどう過ごしていて、どんな感じなのかも直接見れないので分からない。	エレベーターも完備していません。見学に関しては、発達障害系の子どもさんが多いため、エリアに第三者が入ると適切な療育が出来ないので、現状を維持します。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	18	1		3	・一番最初の見学ではよく分からない。 親も緊張でよく見れていない。 ・教室の中というのは、最初の見学時以外見る事がないので分からない。 ・区切りが分かりやすくなっているが、段ボールを利用しているのもう少しきちんとした区切りができると良いと思う。	保育園と違って、他者に見せることを重視していません。あくまでも本人が自立するための訓練を重視します。発達障害系の子どもさんが多いため、エリアに第三者が入ると適切な療育が出来ないので、現状を維持します。段ボールを使っているのは、危なくないからです。
適切 な 支 援 の 提 供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	22					
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	19			3	・熱心に話を聞いてくれて、内容も説明してくれます。	継続します。
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	22					

	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	20			2	・連絡帳はもちろん、本人からも「今日は〇〇した」が、その都度違うと固定化されていないのが良く分かります。	継続します。	
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	15	3		4	・交流についてはあまり聞かないが、園での活動も出来ているので特に問題はない。 ・最近利用が始まったばかりで良く分からない。	どーなつでは療育訓練。 保育園・幼稚園では友達との交流と考えて欲しいです。	
保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	21			1		継続します。	
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	21			1		継続します。	
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	14	3			5		継続します。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	21	1					継続します。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	21				1	・話を聞いてくれます。 ・最近利用したばかりでまだ機会がありません。	継続します。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	10	3	2		7	・最近利用したばかりでまだ機会がありません。	次年度、前向きに検討します。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	21				1		
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	21	1					
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	14	2			6	・最近利用したばかりでまだ機会がありません。	発信しています。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	18				4		
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	14	1			7		
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	10	1	1		10	・最近利用したばかりでまだ機会がありません。	年に2回避難訓練を行っています。
	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	18	3			1	・とても楽しそうです。 ・楽しんで行っています。	現状維持に努めます。

満足度	③ 事業所の支援に満足しているか	21	1		<ul style="list-style-type: none"> ・まだ通所して間もないので分からない。 でもいつもありがとうございます。 ・いろいろな事が沢山出来る様になりスタッフの皆さんに感謝しています。 	継続します。
-----	------------------	----	---	--	---	--------

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業所における自己評価結果(公表)【放課後等デイサービス】

公表：令和6年3月1日

事業所名こども発達支援センターどーなつあらお

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	②	職員の配置数は適切であるか	○			
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		段差はあるが利用者の歩行や移動がスムーズに出来るよう工夫している。
業務 改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			HPIにて公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	第三者評価はしていない。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			外部研修会は積極的に参加している。内部研修も随時行っている。
適切 な 支 援 の 提 供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			保護者に家庭の様子をモニタリングしている。それをもとに職員間で話し合い、保護者と面談して支援計画を作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			各利用者に有効なアセスメントツールを使用し進めている。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			事業所内で随時話し合い、立案している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			利用者の状況を見極めながら都度話し合い、工夫している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			各個人のニーズに合わせて課題を行っている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			利用者の状況を都度話し合い、計画を作成している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎朝行っている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			毎日行っている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			毎日記録を取り、支援方法を話し合っている。
⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的に話し合いを行い判断している。	

	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ て支援を行っているか	○		
関係機 関や保 護者との 連携 関係機 関や保 護者との 連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその 子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画して いるか	○		
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、 子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の 対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○		学校との連携は随時行っている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、 子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	/	/	/
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども 園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互 理解に努めているか	○		必要に応じて話し合いを行っている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害 福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの 支援内容等の情報を提供する等しているか		○	対象児がない。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等 の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		有明圏域の児童発達支援センターと連携し、定期的 にこども総合療育センターの支援及び研修を受けて いる。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない 子どもと活動する機会があるか			○
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加して いるか	○		
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子ども の発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		毎回連絡帳に記入したり電話連絡を行っている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に 対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○		ペアレント・トレーニングは今年度行ってないが、 保護者に対して対応方法など都度支援している。
保護者へ の説明 責任等	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧 な説明を行っているか	○		
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に 応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		連絡帳に記入したり、電話連絡・面談を行い支援して いる。
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する 等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	今年度は2回行っている。
	㉓	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を 整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情が あった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		
	㉔	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、 連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信し ているか			○ 会報は発行していない。
	㉕	個人情報に十分注意しているか	○		配慮している。
	㉖	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報 伝達のための配慮をしているか	○		
	㉗	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれ た事業運営を図っているか			○

非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		職員には周知している。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			行っている。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			研修会を行い対応している。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	/	/	/	
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			作成し職員間で共有している。

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）
【放課後等デイサービス】

公表：令和 6年 3月 1日

事業所名 こども発達支援センターどーなつあらお

保護者等数(児童数 23) 回収数 23 割合 100%

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	21	2		・コロナ感染対策もされている。	継続します。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	21	2		・見学に行った際、きちんと配置されていた。	継続します。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	15	5	3	・分からない。	必要な部分には配慮しています。
適切な 支援の 提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	23			・作成されて丁寧な説明がされた。	継続します。
	⑤	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	21	2			
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	6	11	6		
保護者 への 説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	23				
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	23				
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	23	3		・ちゃんとしたアドバイスや工夫できる事を話してくれる。	継続します。
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	14	7	2		
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	18	5		・苦情を出した事がないので分からない。	体制は完備しています。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	21	2			
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	11	10	2		
	⑭	個人情報に十分注意しているか	21	1		※無回答 1名	

非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	12	10	1		
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	9	13	1	・分からない。	年に2回避難訓練を実施しています。
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	19	4		・朝は機嫌が悪い事が多いので大変だが、昼過ぎから機嫌が良くなっている。	楽しい場所と言うより、本人が落ち着いて過ごせる場所を準備するよう努めている。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	21	2		・毎月大変お世話になっている。通い始めてから気持ちが安定している事が多くなった。スケジュール通りに動いてくれる事も多くなった。	継続します。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者向け放課後等デイサービス評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。